

2022 新体操 U-12 事業 指導者の皆様へ

(公財) 日本体操協会
新体操強化本部長
村田 由香里

日頃より選手育成にご尽力賜り誠にありがとうございます。

本年より新しいルールが施行され、各国、各選手のカラーや世界観がより濃く見えるようになりました。日本ナショナルチーム、選手としてもどのように戦っていけば良いか、今まで以上に戦略が必要な時代になっております。選手一人ひとりの個性やキャラクターを見極め、どのような曲が合うのか、またどのような振り付けが個性を生かせるのかなど、指導者に課せられた役割は更に大きな責任となっているのも事実です。

しかしながら、どの時代においても、どのルールにおいても変わらないことがあります。

- それは、
- ・新体操は美を追求する競技であること
 - ・新体操は身体、手具を駆使し曲を表現する競技であること

です。

ルールが変化することにより、求められることも変化したように感じてしまっていますが、上記のように「動きの質を高め、全身（手具）で曲を表現すること」からぶれることがあってはなりません。現に今シーズン世界のウォームアップやトレーニングを見てきましたが、今までと大きく変化した内容はありませんでしたし、コーチが発する言葉も「手先足先まで美しく！全身を使って表現して！曲を感じて！」など、どのルールにおいても大切にされてきたことばかりでした。言い方をかえれば、私たちが徹底すべきことは変わらないということです。

U-12 のプレジュニア期においては、身体を正しく理解し、感じ、自在にコントロール出来る基礎（力）を身につけることが重要です。そのためにも、選手自身が自分の身体に興味をもちトレーニング（練習）に取り組めるよう、指導者の皆様におかれましてはトレーニング（練習）内容を工夫していただきたく存じます。

最後に、「人間力なくして、競技力向上なし！」、JOC が掲げる選手強化のスローガンにもあります通り、競技をする上で最も重要なことは人間力です。大好きな新体操を通じ、踊ることの楽しさや仲間と共に切磋琢磨出来る喜び、諦めないで頑張り抜く力など、プレジュニア期においてたくさんの力を身につけてもらえれば幸いです。

指導者皆様のお力なくして日本の新体操が進歩、発展することはあり得ません。

今後ともお力添えいただきますようお願い申し上げます。